



元気なあいさつが響いています！

朝、生徒玄関の前では、とても気持ちの良い光景が広がります。

遠く白山の上から降り注ぐやわらかい朝陽と、そして南中生による気持ちの良いあいさつです。生徒会の役員や男子バスケットボール部の部員たちが元気なあいさつをしてくれています。そしてそれに応える登校した生徒の皆さんもさわやかにあいさつを返して、朝陽とあいさつのシャワーに包まれます。本当にすがすがしい気持ちで毎朝をスタートできることに感謝しています。

あいさつには人を元気にさせたり、やる気にさせたり、優しくさせたり、すごいパワーがあります。どうか、心の通った、さわやかなあいさつができる南中であり続けてください。



交通安全に気をつけよう！

元気な学校生活を送るうえで、大切なのが健康です。なかでも、登下校時の交通安全は命に関わることもありますので、きわめて大切です。そこで、もう一度、皆さんの交通ルール・マナーをチェックしましょう。下のチェックに当てはまるかどうか、考えてみてください。

- 歩行者は右側、自転車は左側をしっかりと守れている
- 道路を渡る際は、右左を確認して、横断歩道をわたっている
- 信号を守っている
- 並列になっていない
- 交差点に進入するときは、一旦停止を心がけている
- 自転車に乗る際は、ヘルメットをしっかりとかぶっている



いかがでしょうか？交通ルールやマナーは自分の命を守るだけではなく、友達や家族、地域の方の安全を守るためのものでもあります。しっかりと守れるようにして、交通マナーの面でも小松の南十字星をめざしていきましょう！

脱・『やらされ感』 自分のために！人のために！

5月の心のテーマは『自主・自律』です。これは簡単に言うと、自ら進んでやること・言われる前にやることです。みなさんはきっと誰もが「成長したい」とか「もっと良くなりたい」と心の中で願っていることだと思います。『自主・自律』の心はそれにとっても関わってきます。人間はもともと、仕事をすることや、学ぶことが好きな生き物です。「何もするな」と言われると、逆に戸惑ってしまうものです。

ところが、学級の仕事や、そうじの時間、あるいは学校の勉強になると面倒くさがり、嫌がる人が時々います。その大きな原因は「やらされている」という意識があるからです。どんなためになることも楽しいことも「やらされている」と感じていては、決して自分の力になることなどありません。

では「やらされている」という意識をなくすためにはどうしたらよいのでしょうか。それにはいくつかの方法があります。

1つは、「なぜそれをするのか」を考えることです。例えば学級の当番や係などは、その仕事を誠実にやることによって集団の一員としての役割を果たすことができます。そして、自分を含めた学級のみみんなが困らずに生活できるのです。物事には必ず目的や理由があります。それを考えれば行動する意味が見えてきます。意味さえ分かれば自然と前向きに取り組むことができます。

2つ目は、「近い未来のプラスの状況を考える」ことです。例えば、「ここをがんばったら次のテストで出てもきっと解けるぞ」「ここをきれいにしておくことで次に使う人の気分がいいだろうな」など、それをするすることでおこるであろう近い未来のプラスを想像してみると、やる気が出てきます。

3つ目は「ルーティン」にしてしまうことです。ルーティンとは習慣化された決まりきった行動のことです。「この後はこうする」と決めておけばよいのです。寝る前には歯を磨いて、トイレをすませる、といった「型」をつくってしまうことです。ひとつの行為を次の行為のスイッチにしておくのです。

この3つが「やらされている感」をなくしていきます。

しかし、そうは言っても、勉強も仕事もやった方がいいことなんて分かってはいるけど、なかなか難しいなあと感じる人もいます。実はそんな人には共通点があります。それは口癖です。次に挙げるフレーズをよく使う人は要注意です。「え～」「ムリ」「ヤバイ」「だる」「めんど」「後でやるし」「なんで俺が・私か」などです。これら全てを口癖として最大活用している人は、究極の「やらされ人間」として完成の域に達しつつあります。そのような人に明るい未来が訪れると思いますか？

でも今なら大丈夫。まだ間に合います。

しかしそれには、心のコップを下向きから上向きにする必要があります。心のコップを上向きにするということは、いろんなものを「自分を成長させるための栄養」ととらえ、素直に受け止めるということです。そうすると、不思議と口癖が変わっていきます。「はい」「やります」「できます」「ありがとうございます」。そんなふうに物事を前向きにとらえられるようになります。そうすると、上向きのコップの中にだんだん水がたまっていきます。この水は「自分を成長させるための栄養」ですから、やがてコップの水がいっぱいになってきたとき、努力が実を結ぶ人や周りから信頼される人になっていると思います。

入学や進級からひと月が経ち、身の回りのいろんなことが少しずつ分かり始めてきたと思います。このときに、「みずから進んで・言われる前に」物事に取り組んだり、善い行いをしたりできるようになると、さらにみなさんは自分を高めていけるはずですよ。また、善い行いや前向きな姿勢というのは、周りの人に伝染します。それらは周りを高めていく力も持っているのです。クラスや学年、学校全体や部活動全体でそんな雰囲気をつくれるように、がんばりましょう。